

山古志アルパカ村には、アルパカが散歩したり、寝転がったりできる広い運動場と、雨や強い日差しを避けて休める小屋とテントがある。

冬は牛舎へ



アルパカは寒さにつよいが、山古志は雪が深くで外ではくれないので、12～4月まではつかわなくなった牛舎のなかで飼う



運動場と小屋

牧場は どんなの？

堆肥置き場



エサをもったお客さんをみつけると、もうまっしぐら！

ガチャガチャ

アルパカを見に来たお客さんがエサをやれるように、エサの自動販売機(ガチャガチャ)が置いてある



家畜が飼いたい！⑤

まとめ・編集部

家畜を飼う生活って、どんなの？
飼ってる人に聞いてみましょう！

アルパカ



モコモコの毛は さわり心地ばつぐん！

教えてくれる人 ● 志田麻里奈さん

新潟県長岡市山古志にある牧場「山古志アルパカ村」の社員。犬や猫より大きな動物が飼いたくて、動物管理の専門学校を卒業してすぐアルパカ村に就職した。



モコモコの毛、ながい首、大きくて優しい瞳。そんな癒し系のアルパカを53頭飼っているのが、新潟県の「山古志アルパカ村」だ。「アルパカは好奇心旺盛で仲間思いなんです。人をみつけて『なにになに？』と近寄ってくるのに、さわるうと人が手をのばすと、こわくて引いちゃう。そんな不器用さもかわいいんですよ」と社員の志田さん。

2004年、新潟県では大地震が起きた(中越震災)。大きな被害を受けた山古志へ、アメリカでアルパカ牧場を営む日本人から、「観光牧場をつくって復興に役立てて」と、アルパカが贈られた。村では牧場を手づくりして、みんなで大切に飼って増やしてきた。

お世話は、集落の農家が交代でやる。山古志は、昔から「闘牛」が盛んなところ。おじいちゃんおばあちゃん、みんな牛飼名人。牛と似ているアルパカのお世話なら、おまかせあれなのだ。